



平成29年5月12日

各 位

会社名 株式会社イワキ
代表者名 代表取締役社長 藤中 茂
(コード番号：6237 東証第二部)
問合せ先 専務取締役 松田 健二
(TEL 代表 03-3254-2931)

連結業績予想値と実績値の差異及び剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

平成28年11月9日に公表した平成29年3月期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の連結業績予想値と実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

また、当社は本日開催の取締役会において、平成29年3月31日を基準日とする剰余金の配当について下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件は平成29年6月29日開催予定の第62回定時株主総会に付議する予定であります。

記

1. 連結業績予想数値と実績値との差異について

(1) 平成29年3月期の連結業績予想数値と実績値との差異（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 24,871	百万円 1,594	百万円 2,067	百万円 1,527	円 銭 204.04
実績値（B）	25,146	1,465	2,136	1,690	225.93
増減額（B-A）	275	▲129	69	163	—
増減率（%）	1.1	▲8.1	3.4	10.7	—
（ご参考）前期実績 （平成28年3月期）	24,830	1,533	1,991	1,527	223.99

(2) 差異の理由

当連結会計年度において、売上製品ミックスの悪化や売上増加に伴い経費が増加したこと等により、営業利益について連結業績予想数値と実績値に▲129百万円の差異が生じました。しかしながら、アジア地域において、主に半導体・液晶市場、表面処理装置市場が好調に推移したことにより、関係会社の業績が好調で持分法による投資利益が上振れしました。また、期中に償還を迎えた投資有価証券で為替差益が発生したこ

と等により、経常利益は連結業績予想数値と実績値に69百万円の差異、親会社株主に帰属する当期純利益は163百万円の差異が生じました。

2. 剰余金の配当（増配）について

（1）配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成28年11月9日公表)	前期実績 (平成28年3月期)
基準日	平成29年3月31日	同左	平成28年3月31日
1株当たり配当金	38円00銭	32円00銭	78円80銭
配当金総額	284百万円	—	589百万円
効力発生日	平成29年6月30日	—	平成28年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）理由

当社は、株主の皆様に対する配当政策を最重要課題のひとつとして位置付け、利益還元策として、配当を安定的に継続実施し、業績に応じた適正な成果配分を行うことを基本方針とし、連結での配当性向30%以上を目標としております。

この方針のもと、当期の期末配当金は、当期の業績を勘案し、直近の配当予想に比べ6円増配し、1株当たり38円と決定いたしました。

（ご参考）年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	30円00銭	38円00銭	68円00銭
前期実績(平成28年3月期)	0円00銭	78円80銭	78円80銭

以上